



①② 新潟県村上市の被害と被災地で活躍した電動運搬車©都岐沙羅パートナーズセンター ③ 宮崎県延岡市で続く浸水家屋の復旧作業©おもやいボランティアセンター ④ みんな DE 防災@大分 ⑤ 避難所体験会©佐賀

— 2022年8・9月 豪雨・台風 —

断水や浸水の被災地へ必要とされる物資を

今夏もまた、日本列島を度重なる自然災害が襲いました。

8月3日から続いた記録的な大雨により、北海道から九州まで全国25県で7,000棟以上もの住居被害が報告され、特に新潟県では床上・床下浸水などの被害が2,434軒にのぼりました。

また、「歴代最強クラス」と言われた9月14日の台風14号は、九州や東海、関東などに人的被害や住宅被害をもたらしました。そのわずか10日後に発生した台風15号も、静岡県静岡市の広範囲に断水や床上・床下浸水の被害をおよぼしました。台風14号と15号で被害にあった住宅は、合わせて15,000軒以上にのぼり、その復旧作業はまだ終わっていません。静岡県内では引き続き災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアを募っています。

これらの災害は「激甚災害」に指定され、道路や農地、学校などの復旧工事の費用が国から補助されますが、被災した人々の生活再建はこれからが正念場です。水害時には、泥の清掃やカビの除去、痛んだ家屋の撤去などが必要になり、専門的な知識やノウハウが求められます。「災害後の支援制度がよくわからない」と不安を抱える人もいます。

今号のニュースレターでは、今年の8月と9月に発生した豪雨や台風の被災地への支援活動についてご報告します。

佐賀県「ふるさと納税」受付中!

8・9月の災害支援の教訓を踏まえ、10月に佐賀県のふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングプロジェクトを立ち上げました。皆様のご支援がいざというとき、被災地の助けになります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。佐賀特産の返礼品もご用意しています。

災害時にいち早く医療と支援を届ける!
「空飛ぶ捜索医療団」の活動を応援してください

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2020>

目標金額: 200万円

募集期間: ~2023年1月18日
(90日間)

資金使途: 支援物資の調達・輸送等





2022年 8月豪雨／台風14号／台風15号 ～「Good Links」を通じて被災地に必要な物資を

8月と9月は災害が多い時期ですが、今年も大雨や台風により全国各地で甚大な被害が発生しました。Civic Forceは、被災地でいち早く活動を開始した地元団体などと連携し、新潟県や宮崎県に支援物資を届けました。



8月豪雨

断水続く新潟県村上市へ 給水袋と電動運搬車を提供

8月3日から続いた記録的大雨により大きな被害を受けた新潟県村上市では、山間部の高根集落など一部の地域で断水が続いていました。Civic Forceは6日、備蓄していた給水袋500枚を村上市に向けて発送し、断水した世帯で活用されました。また、村上市などで地域づくりを推進する中間支援団体、特定非営利活動法人都岐沙羅(つきさら)パートナーズセンターに電動運搬車2台を無償貸与しました。被災した集落では、坂や狭い道が多く、自動車やトラックでの運搬が困難で、電動運搬車を使って物資を高齢者宅などに運びました。その際、地域の子どもたちも一緒に回り、ニーズの聞き取り調査を実施。「運搬車のおかげで重い水などもスムーズに届けられるようになった」と喜びの声が寄せられました。



地域の子どもたちとともに重い水などを運搬



道路が崩れ車両が通れなくなった林業作業の現場でも活用
©高根コミュニティラボ わあら



貸与中の電動運搬車



見えにくい床下被害©高根ボランティアクラブ

NIIGATA

[新潟]



被災地に届けたご飯と味噌汁 ©おもいやいボランティアセンター

MIYAZAKI

台風14号

パックご飯や即席味噌汁を 宮崎県延岡市へ

[宮崎]

宮崎県延岡市では、300戸以上の住宅が床上浸水の被害を受けました。Civic Forceは、延岡市で被災家屋の再建支援を続けている一般社団法人おもいやいボランティアセンターを通じて、10月22日、パックご飯やフリーズドライの味噌汁などを届けました。おもいやいボランティアセンターはCivic Forceが事務所を構える佐賀県のNPOで、過去の佐賀豪雨などで被災を経験し、「宮崎の人にも助けてもらった恩返しをしたい」と、被災者の相談ののったり家屋の清掃のお手伝いをしたりニーズに合わせて活動しています。

台風14号・15号

被災地でご活用ください！ Good Links で 支援物資公開中

新潟や宮崎への支援のほか、Civic Forceでは台風15号の被害を受けた静岡県など全国の被災地で活用いただく物資を、オンラインマッチングプラットフォーム「Good Links」で公開しています。
<https://goodlinks.civic-force.org/supply/>



支援物資の一例

- ・ブルーシート
- ・非常用トイレ
- ・給水袋
- ・ドライシャンプー
- ・高圧洗浄機
- ・下着、靴下、Tシャツ

災害支援の分野で継続的に活動を行っている非営利団体をご利用いただけます。被災地で必要な物を登録する「リクエスト(ほしい物)登録」もご利用いただけます。詳しくは、gl@civic-force.org までお問い合わせください。

企業連携

Amazonと災害支援研修会を実施



Civic Forceでは日頃からさまざまな組織と「災害支援のための連携体制」の構築に力を入れています。8月1日には佐賀県鳥栖市にあるAmazonの鳥栖フルフィルメントセンターで、「被災地のニーズにあった『ほしい物リスト』の活用を考える」をテーマに研修会を開催。被災者支援や防災分野で連携を深めていくことを確認しました。

Amazonの「ほしい物リスト」とは

自分のほしい商品をあらかじめ登録しておくことで、ほかの人に自分がほしい商品をお知らせできるAmazonの機能です。「被災地ほしい物リスト」では、避難所などで支援物資として必要な商品と数量を登録し、Amazonのユーザーに公開できます。ユーザーがリストの商品を購入すると、指定住所に商品が配達され、被災地支援につながります。台風14号支援で宮崎県に届けたご飯パックや味噌汁も、Amazonの「ほしい物リスト」を活用しました。

記憶の伝承

災害の記憶・教訓を後世に残す「伝承」活動



311メモリアルネットワーク 「2021年東日本大震災伝承活動報告書」が完成

2013年に災害対策基本法の改正で、「過去の災害の教訓の伝承」が住民の責務と明記されました。本書は、東日本大震災の被災地における、住民の伝承活動の状況をまとめた唯一の調査報告書です。災害で命が失われない社会に向けた議論と実践を活性化させるために、意義のある一冊です。ぜひご一読ください。

全文はこちら



富岡町3・11を語る会 小・中学生かたりベニューチューバーが発信



<https://www.civic-force.org/info/activities/higashinohon/20220929.html>

原発事故の影響や富岡町の現在について伝えていく「語り人(かたりべ)」の育成に力を入れる富岡町3・11を語る会では、大人向けのかたりべ教室に加え、今年6月から小中学生対象の動画制作の教室「かたりべニューチューバー」を開催しています。このたび小中学生の制作した動画が公開されました。

全文はこちら



緊急即応体制を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるためのさまざまな取り組みを行っています。
 メディア掲載や協力企業・団体の皆様の関連情報もお知らせします。



遺贈寄付パンフレットができました

NPOや教育機関などに遺産や相続した財産を寄付することを「遺贈寄付」といいます。「人生の集大成として社会に貢献したい」、「生きた証を残したい」などさまざまな思いから、遺贈寄付をお考えになる方が増えています。寄付先としてCivic Forceをご指定いただくことで、災害で被災した地域の人々を支えることができます。このたび、Civic Forceの遺贈寄付に関するパンフレットが完成いたしました。送付をご希望の方はinfo@civic-force.orgにご請求ください。

「みんなDE防災」 @大分&大阪

選手会ファンド

大分県別府市で8月21日に開催された「キャッチボールクラシック」(共催：日本プロ野球選手会、別府市軟式野球連盟)の中で防災イベント「みんなDE 防災×選手会ファンド」を開催しました。同様の防災イベントを11月13日、大阪府東大阪市でも実施しました。また、東京・芝浦で8月29日、ベースボール・レジェンド・ファウンデーション(BLF)と日本プロ野球選手会、Civic Forceの共催で「選手会ファンド勉強会」を開催し、Civic Force代表の根本佳織が災害支援活動や防災の取り組みについて話しました。



もっと気軽に社会貢献!

活動全般

- ブリリアンスプラス「シークレットストーン」
<https://www.brilliance.co.jp/about/news/donation-program.html>
- ふるさと納税(佐賀県NPO支援)
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/41001/107>
- バリューブックス「チャリボン」
<http://www.charibon.jp>
- ヘッズ「チャリティハビネスレジ袋」
<https://www.e-heads.co.jp/shop/g/CHRC-M/>
- サンナップ(アスクル限定販売)「フェーズフリー認証 紙コップメジャーメント」
<https://askul.disclosure.site/ja/themes/103>
- 本棚お助け隊「古本チャリティ募金」
<https://hondana.biz/charity-application/>
- ECナビ「スマイルプロジェクト」
https://ecnavi.jp/smile_project/

指輪の内側に
光る宝石
売上の10%を
寄付



新型コロナウイルス緊急支援

- BEAMS「ビームスマスク」
<https://www.beams.co.jp/brand/901658/>
- GlobalGiving(英)
<https://www.globalgiving.org/projects/coronavirus-relief-aid-distribution/>

1枚購入で
100円寄付

東日本大震災

- Yahoo!ネット募金
<http://donation.yahoo.co.jp/detail/3747011>

佐賀・大町町で避難所体験会

佐賀県大町町で8月8日、避難所体験会が開催され、Civic Forceは佐賀県オールトヨタとともに給電機能付きの車両の活用方法を紹介しました。



医療機関へトレーラー貸与

コロナ第7波を迎えた8月6日、佐賀市内の医療機関にトレーラー2台を無償貸与し、屋外(ドライブスルー)で発熱患者の検査などを行うスタッフの待機場所として活用されています。



災害時連携について講演

11月2日、佐賀県武雄市で「誘致CSOとの交流会」が開催され、ゲストとしてCivic Force代表の根本佳織が登場し、災害時連携の大切さについてお話ししました。

メディア情報

- 22.08.22 **WEB** Amazonニュース
被災地のニーズにあった「ほしい物リスト」の活用を考える
- 22.08.23 **新聞** 大分合同新聞
子どもたちが「野球の原点」競うプロ野球選手会、別府市でキャッチボール
- 22.08.24 **新聞** 佐賀新聞
シビックフォース、プロ野球選手会と連携 災害支援活動の寄付募る
- 22.09.11 **新聞** 佐賀新聞
ろんだん佐賀 顔の見える関係、協働体制に魅力

1日33円からできること

次の大規模災害に向けて平時から備えておくために皆様の力が必要です。マンスリーサポーターとして毎月定額(1000円単位)のご寄付で支えてください(クレジットカードのみ)。また、団体活動全般へのご寄付は以下の口座で受け付けています。

- 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964
- ゆうちょ：00140-6-361805
 上記いずれも口座名義は
 「コウエキシャダンホウジン シビックフォース」
- クレジットカード：HP「オンライン募金」より
<https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

SNSで最新情報をお届けします

シビックフォース

